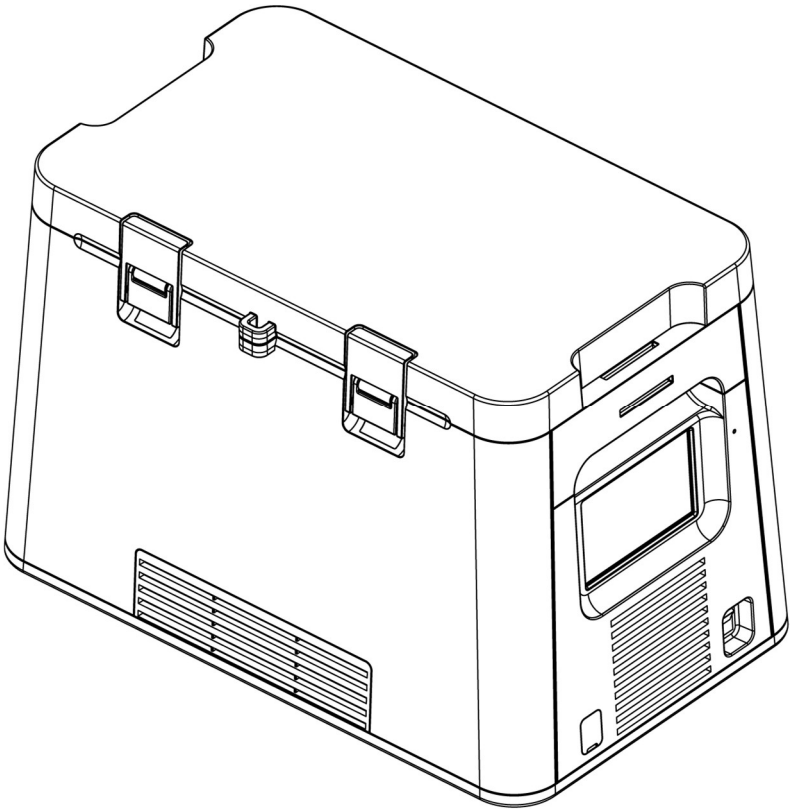
定温輸送装置（医薬品輸送・保管用）

TEXY-ONE+

取扱説明書



株式会社テックスイージー

はじめに

このたびは、定温輸送装置（TEXY-ONE^{+}）をお買い上げいただきありがとうございます。
本取扱説明書は、定温輸送装置（TEXY-ONE^{+}）の操作方法やメンテナンスについて記載しています。
ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を十分に理解してから、正しく使用してください。

- 本書は、必要なときにいつでもご覧になれるよう、お手元で大切に保管してください。
- 本書は、Screen ver. 1.2.6以降、LogReader ver. 0.93.1以降の装置を対象としています。それより前のバージョンは、販売代理店までお問い合わせください。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一ご不明な点や誤り、お気付きの点がございましたら、販売代理店までご連絡ください。
- 本書を紛失または汚損した場合、警告ラベルを損傷した場合は、販売代理店までお問い合わせください。

製品改良のため、予告なく本書に記載している仕様の一部を変更することがあります。

安全に関する表示

本書の中で、ユーザーの事故防止と装置の損傷防止などのため、下記に示す絵表示とシグナルワードによる注意事項などを記載しています。
警告、注意は装置を正しく使用し、所定の性能を得るために必要な情報です。常に遵守してください。

本文中の表示

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される内容
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、傷害を負う危険な状態が生じることが想定される内容

図記号の説明

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

	製品の取扱いにおいて、その行為を**禁止**する内容
	製品の取扱いにおいて、必ず実行していただく**強制**する内容

その他、知っていると役立つ事項などを、次の表示で区別し、説明しています。

	製品を取扱う上で知っていると役に立つ事項。

Copyright © 2026 TEXeg CO., LTD all rights reserved.
本書の内容の全部または一部を無断でいかなる方法においても複写あるいは転載することを禁止します。

保証とアフターサービスについて

製品保証

1. 製品保証期間
納品から 1 年間とします。

2. 保証範囲
保証期間内に、当社の責任により故障が生じた場合は、修理または部品の交換を無償で行います。
ただし、保証期間内であっても下記に該当する故障の場合は、保証対象外とさせていただきます。

(1) 消耗品および通常使用による摩耗、劣化
(2) 不適切な取扱方法による故障
(3) 取扱説明書に記載している環境条件以外での使用による故障
(4) 本製品に付属する電源及びバッテリー以外を使用したことによる故障
(5) 当社以外の分解、改造、修理による故障
(6) 自然災害や想定外の外的要因による故障
(7) その他、当社の責任に起因しない故障

3. 保証の対象
保証は、当社と最初にご契約した日本国内のお客様に適用されます。
転売後のお客様および日本国外のお客様は保証の対象外となります。

4. 責任の制限
当社は、故障によって生じるいかなる損害に関して、一切の責任を負いかねます。

5. 仕様の変更
改良のため、本書に記載している仕様を予告なく変更することがあります。

6. サービス範囲
技術者派遣の費用は、製品販売価格に含まれていません。ご希望に応じて、別途相談させていただきます。

アフターサービス

製品に関するお問い合わせは、「製造番号」をお控えのうえ、販売代理店までご連絡ください。

販売代理店

もくじ

はじめに II

安全に関する表示 II

保証とアフターサービスについて III

1 概要 1
1.1 装置の用途 1
1.2 装置の特徴･機能 1

2 安全にご使用いただくために 2
2.1 安全上のご注意 2
2.2 航空輸送で輸送時の注意事項 3

3 装置仕様および外観 4
3.1 仕様 4
3.2 寸法図 5
3.3 装置外観および各部名称 6

4 装置の使用方法 7
4.1 使用、設置条件 7

5 準備 8
5.1 電池パックの充電 8
5.1.1 電池残量の確認 8
5.1.2 充電器で充電する場合 9
5.1.3 装置で充電する場合 9
5.2 装置の起動 10
5.2.1 電池パックモードで起動 10
5.2.2 AC 給電モードで起動 12
5.3 装置の停止 13
5.4 保管物の収納 13
5.4.1 使用前準備 13
5.4.2 保管物の収納方法 14

6 操作パネルの操作 15
6.1 画面表示 15
6.2 LED表示とアラームの状態 16
6.3 温度の設定 18
6.4 日付の設定 19
6.5 装置情報の確認と変更 20
6.5.1 装置情報の確認 20
6.5.2 温度ログ間隔の変更 21
6.5.3 パスワードの変更 21
6.6 グラフ表示 22

7 データの出力 23
7.1 ソフトウェアの準備 23
7.2 ソフトウェアの起動 25
7.3 データ取込準備 26
7.3.1 PC 使用時の取込準備 26
7.3.2 Bluetooth 使用時の取込準備 26
7.4 データ取り込み 27
7.5 TEXY-ONE-LogReaderのエラーリスト 31
7.6 温度ログデータの削除 32

8 メンテナンス 33
8.1 装置の清掃 33
8.2 吸気口、排気口の清掃 33
8.3 パッキンの点検交換 34
8.4 各種初期化 35
8.4.1 装置の初期化 35
8.4.2 パスワードの初期化 36

9 トラブルシューティング 37
9.1 エラーリスト 37
9.2 故障かな? 38
9.2.1 電源が ON にならない 38
9.2.2 庫内が設定温度にならない 38
9.2.3 アラームが止まらない 38
9.2.4 温度ログデータが出力できない 38
9.2.5 アラームが鳴らない 39

1 概要

1.1 装置の用途

主な用途としては、医薬品等の輸送です。
厳格な温度管理を求められるワクチン輸送にも最適です。

1.2 装置の特徴・機能

1. 緻密な温度管理ができます。
   庫内温度は0℃～40℃の範囲で設定可能です。※
   ※　庫内温度は、使用環境温度と設定温度の差により設定温度に達しない場合があります。
2. 操作パネルで簡単に各種設定や装置の状態の確認ができます。
3. 耐久性に優れた輸送設計とバッテリー駆動により、長時間の輸送を実現します。※
   ※　3.1 仕様 電池運転をご参照ください。
4. 扉開閉時や温度異常の際のアラーム機能や、扉が施錠できることによりセキュリティ機能を強化しています。
5. 扉の開閉や電源の切り替え（AC給電／電池パック）をイベントとして記録し、グラフ表示やCSVファイルで確認できます。

2 安全にご使用いただくために

2.1 安全上のご注意

⚠警告

ご使用になる前に取扱説明書をよく読み、十分に理解してから作業してください。
すべての警告および注意を遵守し、正しくご使用ください。

本取扱説明書に書かれていない方法、目的のために、装置を運転しないでください。
1.1 の装置用途に関わる品物以外は入れないでください。
事故につながる恐れがあります。

装置に直接水をかけないでください。
漏電、感電の恐れがあります。

装置および充電器、電池パックに落下などの衝撃を与えないでください。
衝撃により変形すると、装置が故障する恐れがあります。

装置や電気系統に異常が発生した場合は、直ちに使用を停止し、販売代理店までご連絡ください。
異常がある装置を使用すると、事故につながる恐れがあります。



装置を分解、修理、改造しないでください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
装置が故障した場合は直ちに使用を中止してください。

⚠注意

装置は、環境条件を満足する場所で使用してください。
守られなかった場合は、装置が故障する恐れがあります。
設置環境は「4.1」(P7)を参照してください。

吸気口および排気口を塞がないでください。
装置が故障する恐れがあります。

専用の充電器と電池パックを使用してください。
火災や感電、装置が故障する恐れがあります。

操作パネルに強い力を加えないでください。
パネルが割れると、怪我や装置が故障する恐れがあります。

輸送前に肩掛けベルトが緩んでないか確認してください。
落下すると、怪我や装置が故障する恐れがあります。

装置の設置や輸送時は、以下のことに注意してください。
装置が故障する恐れがあります。

1. 装置を 3 段以上積まないでください。
2. 装置に 20kg 以上の重量をかけないでください。

電源が入らない、温度が変化しないなどの異常があった場合は、直ちに使用を中止してください。

⚠注意

装置が故障している恐れがあります。
アラームを消音しても、異常状態は解消されていません。
必ず原因を確認し、適切に対処してください。

異音や異臭がした場合は、直ちに使用を中止してください。
火災や感電、装置が故障する恐れがあります。

扉の開閉時に指を挟まないよう注意してください。

扉や電池トレーを無理に開けたり閉めたりしないでください。
装置が故障する恐れがあります。

装置の廃棄方法は、自治体のルールに従ってください。

電池パックを約 600 サイクル(約 2 年相当)使用または満充電時でも電池切れまでの時間が極端に短くなったときは、直ちに使用を中止し、電池パックを交換してください。
電池パックを廃棄するときは、各自治体のルールに則ってください。



使用済みリチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

2.2 航空輸送で輸送時の注意事項

本製品はリチウムイオン電池を使用しています。
航空輸送で本製品を輸送する場合は、IATA危険物規則に従ってください。

3 装置仕様および外観

3.1 仕様

装置本体

品名	定温輸送装置
型番	TEX1676-T001
定格	DC12V 4.5A 54W(専用 AC アダプター充電器)
外寸法	W464.0×D289.0×H311.5
内寸法	W300.0×D200.0×H133.0
温調方式	電子冷却式
使用環境温度 (AC 給電モード)	5～35℃
使用環境温度 (電池パックモード)	0～35℃
使用環境温度	RH30%～80%
設定温度	0～40℃までの任意の値
庫内容量	8.0L
重量	9.8kg(装置本体) 11.2kg(バッテリーを含めた総重量)
電池運転	480 分以上の連続運転 (設定温度 5℃、庫内温度 25℃、使用環境温度 25℃のとき)※
温度記録間隔	10～999 秒の任意の値
最大記録期間	172,800 データ (例:記録間隔が 60 秒の場合 120 日分)
表示・通知	液晶画面表示・ブザー警音(消音機能付き)
適合法規	電波法
適合規格	Bluetooth 認証

※ 新品満充電電池使用時の参考値となります。

※ 扉開閉・電源切替のイベントログは、温度ログとは別に記録されます。そのため、出力されるログのデータ件数は、172,800データより多くなる場合があります。

電池パック

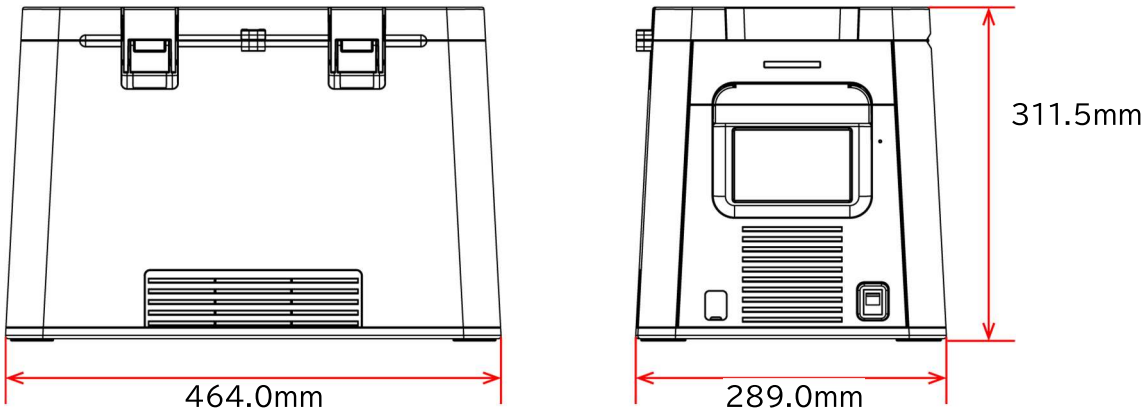
品名	リチウムイオン電池パック
型番	3UR18650ZM2-6-8701
定格容量	10.8V 139Wh 12,780mAh
寸法	W195×D100×H60
安全対策	過充電保護、過放電保護、過電流保護、短絡保護
使用環境温度(充電)	0～45℃
使用環境温度(放電)	-20～60℃
重量	1.25kg
適合法規	電気用品安全法(PSE)
適合規格	UN Manual of Test and Criteria, Part Ⅲ, sub-section 38.3

充電器

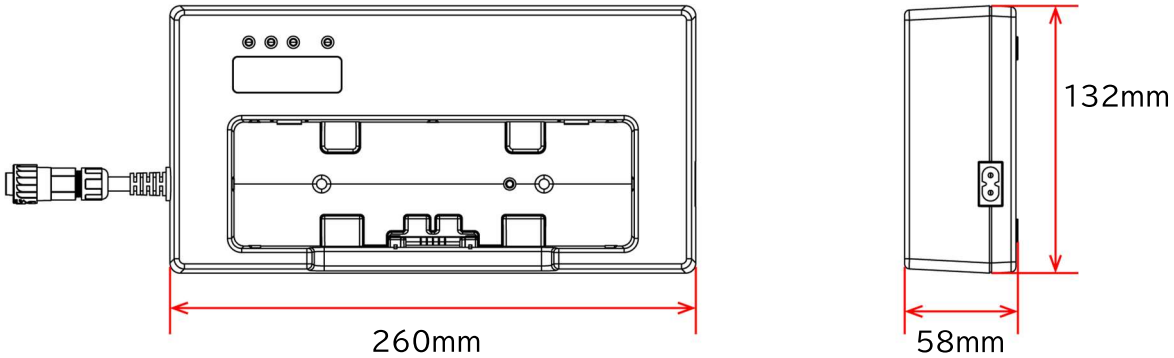
品名	充電器
充電器	POWER SUPPLY BATTERY CHARGER
型番	ZQC686Z-J01
寸法(ケーブルは除く)	W260×D132×H58
AC ケーブル長	1.5m
DC ケーブル長	1.0m
重量	1.1kg
安全対策	充電温度保護、過充電保護、過放電保護充電、異常電池判定
適合法規	電気用品安全法(PSE)
入力定格電圧	100～240V
最大入力容量	1.2A
周波数	50/60Hz

3.2 寸法図

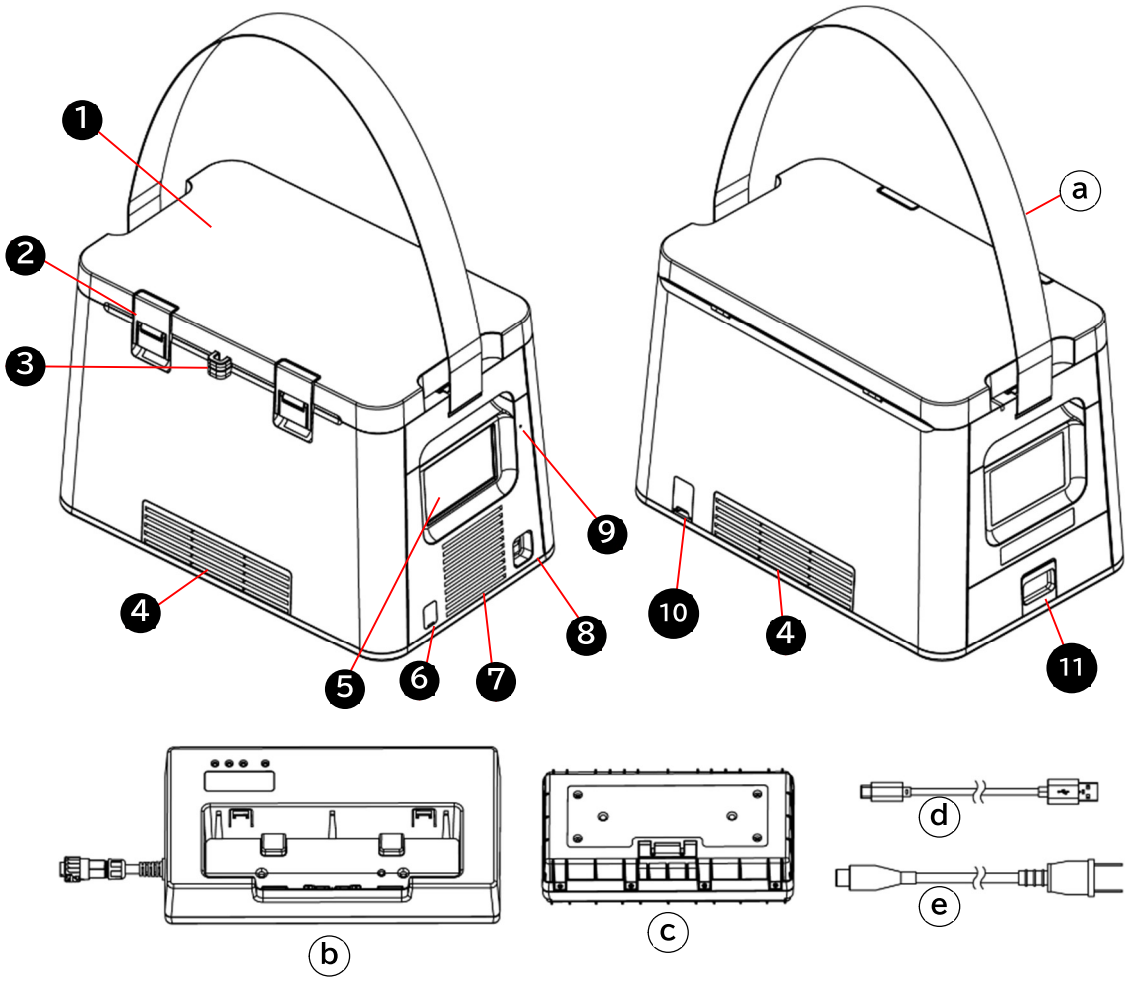
装置本体



充電器



3.3 装置外観および各部名称

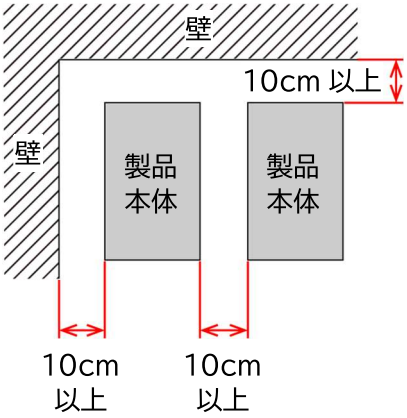


装置外観		付属品	
No.	名称	No.	名称
1	扉	a	肩掛けベルト
2	ラッチ	b	充電器/DC ケーブル
3	鍵取付穴	c	電池パック
4	吸気口	d	USB Type-C ケーブル
5	操作パネル/液晶表示部	e	充電器用 AC ケーブル
6	USB ポート typeC		
7	排気口		
8	電源スイッチ		
9	LED 表示		
10	DC ジャック		
11	電池トレー		

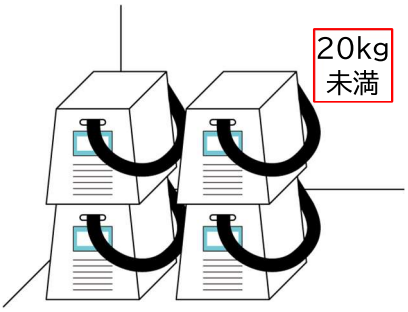
4 装置の使用方法

4.1 使用、設置条件

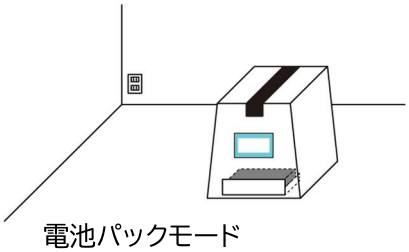
- 環境温度：5～35℃（AC給電モード）
- 環境温度：0～35℃（電池パックモード）
- 装置は周囲10cm以上のスペースを確保できる場所に設置してください。

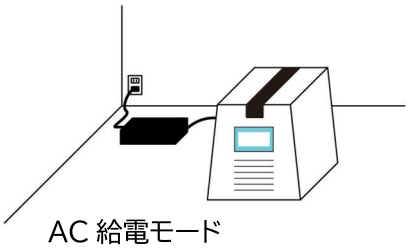


- 装置の積載は2段まで可能です。
  - 肩ベルトを挟み込まないよう注意して積載してください。
  - 1段目の上部と2段目の底面が噛み合うように積載してください。
  - 3段以上は積載しないでください。
  - 装置の総重量が20kg以上になる場合は、積載しないでください。



- 装置は電池パックモードまたはAC給電モードで使用します。長時間設置する場合は、「5.2.2」(P12)を参照し、AC給電モードで使用してください。


電池パックモード


AC 給電モード

5 準備

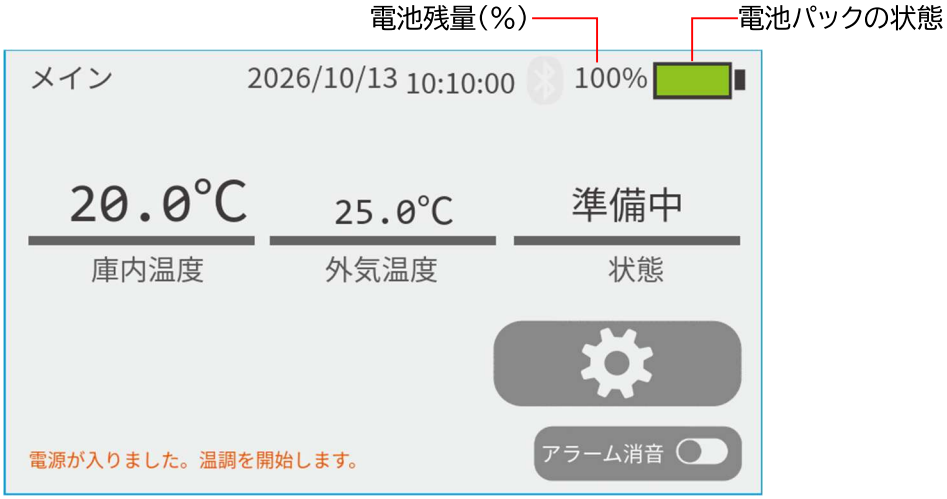
5.1 電池パックの充電

使用前に、必ず電池パックを充電してください。

5.1.1 電池残量の確認

電池残量および電池パックの状態は、メイン画面または充電器で確認できます。

<メイン画面の表示>



充電の目安

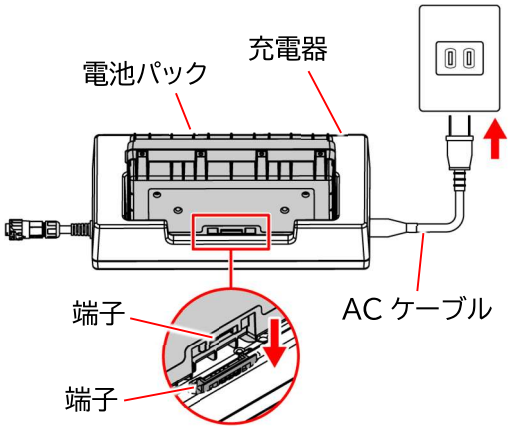
使用環境により、駆動時間は異なります。

表示	電池残量	状態
	100%	使用できます。
	75～99%	使用できます。
	16～74%	充電してください。
	15%以下	直ちに充電してください。
	0%	使用できません。直ちに充電してください。

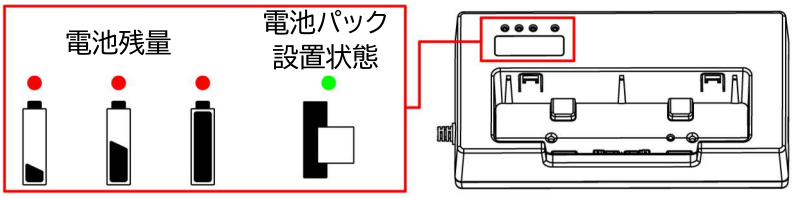
電源投入直後は電池残量(%)が実際の数値より多く表示されます。表示は、電源投入後5 分程度で安定します。

5.1.2 充電器で充電する場合

1) 充電器に電池パックを取り付けます。
充電器と電池パックの端子の位置を合わせて挿入してください。
2) 充電器のACケーブルをコンセントに接続します。



充電中の表示



●赤(点灯)：充電完了 ●赤(点滅)：充電中 ●緑(点灯)：電池パック設置中

表示	電池残量	状態
赤(点灯)	100%	使用できます。
赤(点滅)	約 75～99%	使用できます。
赤(点滅)	約 50～75%	フル充電までお待ちください。
赤(点滅)	50%以下	フル充電までお待ちください。
赤(すべて点滅)	0%	電池パックに不具合があります。

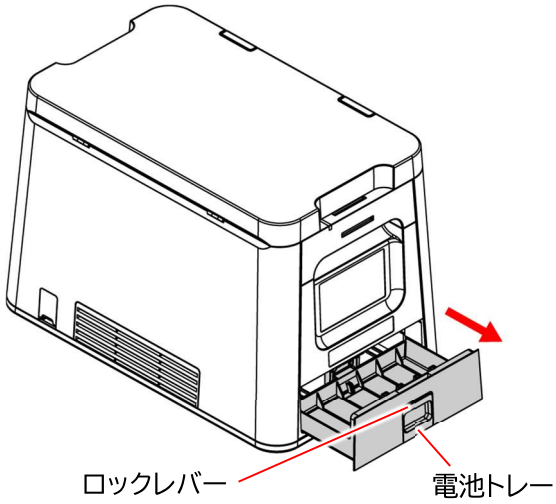
5.1.3 装置で充電する場合

装置に電池パックを設置した状態で充電する場合は、「5.2.1」(P10)を参照し、充電器を装置に接続してください。
電池パックを装置設置中にAC給電モードで起動したときは、充電をしながら装置が使用できます。

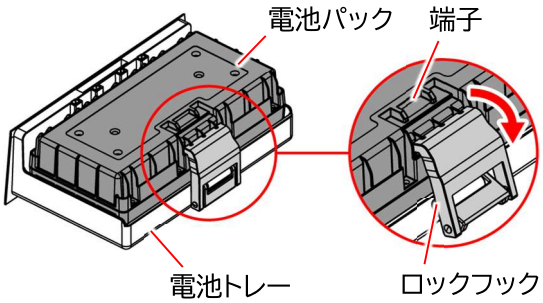
5.2 装置の起動

5.2.1 電池パックモードで起動

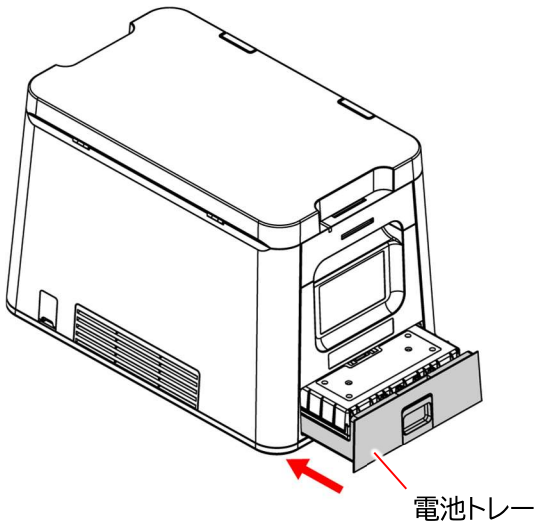
1) ロックレバーを引き上げ、装置から電池トレーを手前に引き出します。



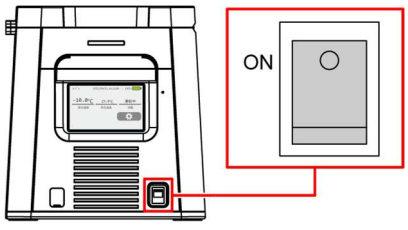
2) 電池トレーに電池パックを以下の手順で設置します。
電池パックの方向を間違えないよう注意してください。
   a) 電池パックの端子の位置がロックフック側になるよう、電池トレーに設置します。
   b) 電池パックをロックします。
   c) 電池パックが固定されていることを確認します。



3) 電池トレーを装置に取り付けます。
4) 電池トレーがロックされていることを確認します。

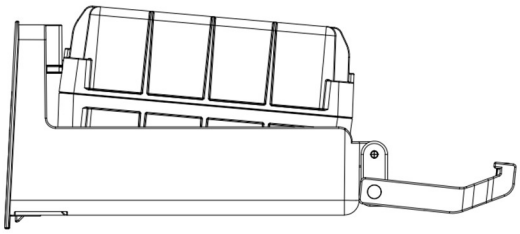


5) 装置の電源をONにします。

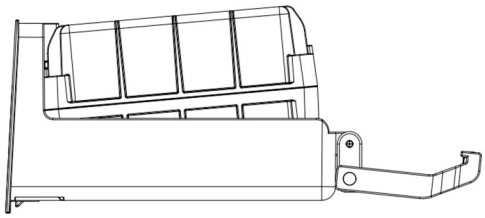


電池パック設置時の注意点

電池パックは必ず正しい向きで電池トレーに設置して下さい。



NG

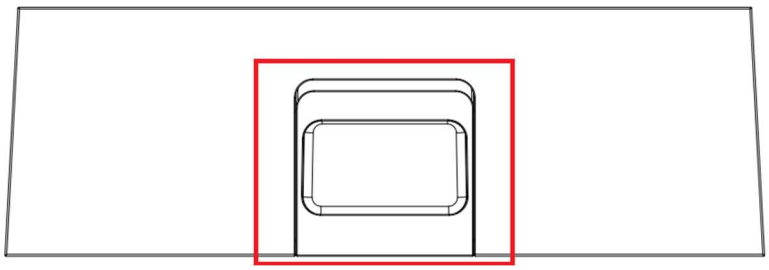


OK

電池パックの向きが逆の場合、
電池トレーとの間に隙間ができます。

電池トレー取付時の注意点

電池トレーを本体に取り付けた後、必ず電池トレー側面のロックレバーが降りていることを確認してください。

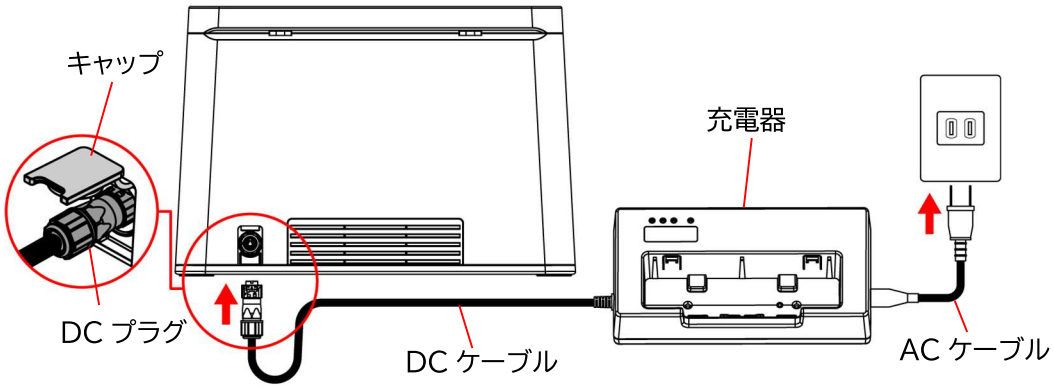


ロックレバーが降りていない場合、
電池トレーの落下や通電不良が起きる
可能性があります。

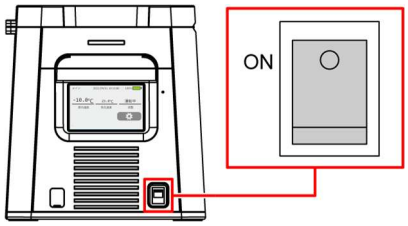
5.2.2 AC 給電モードで起動

1) DCジャックのキャップを開き、充電器のDCケーブルを装置に接続します。
DCジャックの差し込み位置を合わせて、DCプラグをカチッと音がするまでしっかりと挿入してください。

2) 充電器のACケーブルをコンセントに接続します。



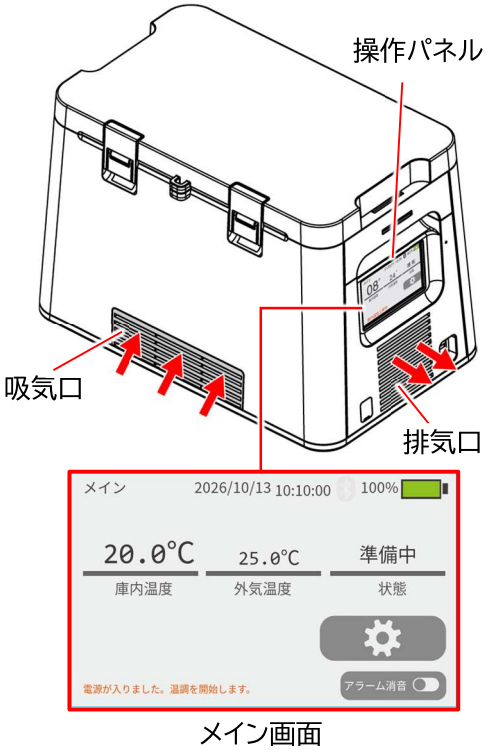
3) 装置の電源をONにします。



4) 装置の吸気口（2箇所）と排気口から空気が出入りしていることを確認します。

5) 操作パネルにメイン画面が表示されていることを確認します。
AC給電モードで使用している場合は、メイン画面の電池アイコンが充電中（）になっていることを確認します。

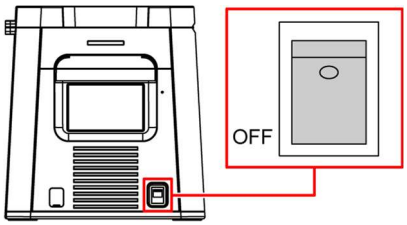
※ 電池パックを設置した状態でAC電源を抜くと、電池パックモードへの切り替えのため、画面が一時的に再起動し、ファンが一瞬停止します。運転はすぐに再開されるため、故障ではありません。



メイン画面

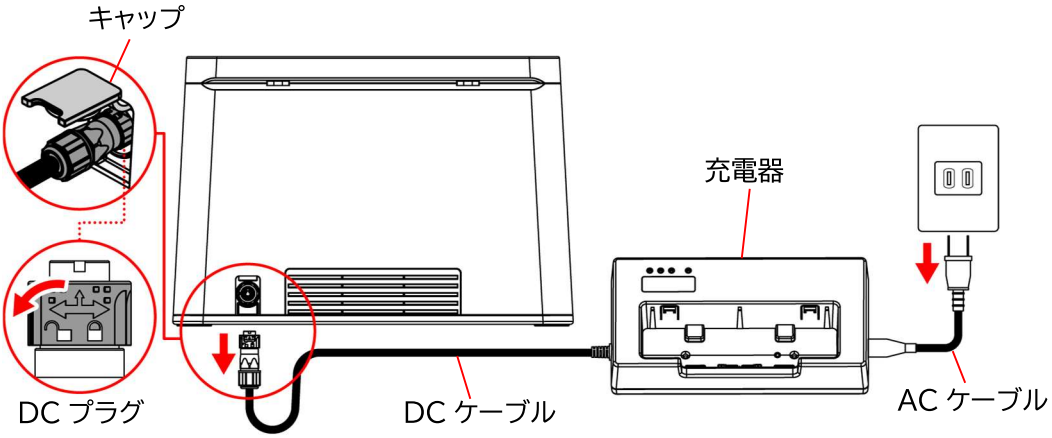
5.3 装置の停止

1) 電源スイッチをOFF※にします。



装置を OFF にすると、庫内設定温度は保たれません。
※ 設定した内容（温度設定、日付、パスワード、温度ログ間隔など）は、電源をOFF にしても保持されます。ただし、アラームの消音は電源を OFF にすると解除されます。

2) AC給電モードで使用していた場合は、充電器のケーブルを以下の手順で取り外します。
   a) コンセントから充電器のACケーブルを抜きます。
   b) 充電器のDCプラグのロック箇所を反時計回りに回しロックを解除します。
   c) 充電器のDCケーブルを抜きます。
   d) DCジャックのキャップを閉じます。



3) 電池パックモードで電池残量が0%になり、装置が自動で停止した場合
   必ず電源スイッチをOFFにしてください。
   電源スイッチがONのままだと、アラームを鳴らしながら短時間の再起動と停止を繰り返し、過放電により電池パックが劣化するおそれがあります。

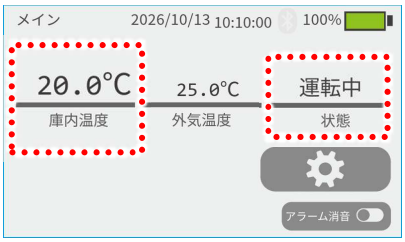
5.4 保管物の収納

5.4.1 使用前準備

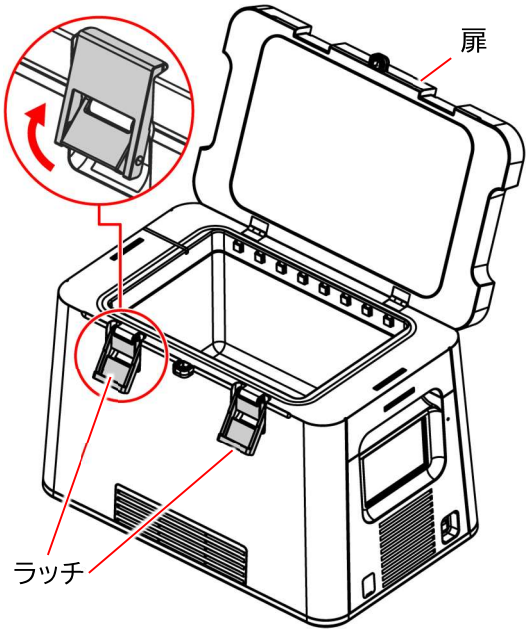
1) 「8.3 パッキンの点検交換」(P34)を参照し、パッキンに異常がないか確認します。
2) 「5.2 装置の起動」(P10)を参照し、装置を起動します。
3) 装置を初めて使用する場合は、下記項目を設定してください。
   - 日付設定： 「6.4 日付の設定」(P19)参照
   - 温度設定： 「6.3 温度の設定」(P18)参照
   - BOX情報： 「6.5.1 装置情報の確認」(P20)参照
     - 温度ログ間隔設定： 「6.5.2 温度ログ間隔の変更」(P21)参照
     - パスワード設定： 「6.5.3 パスワードの変更」(P21)参照 (初期パスワード:1234)
4) 庫内の設定温度が安定するように待機※します。
   ※ 環境温度25℃前後で、90分以上が目安です。

5.4.2 保管物の収納方法

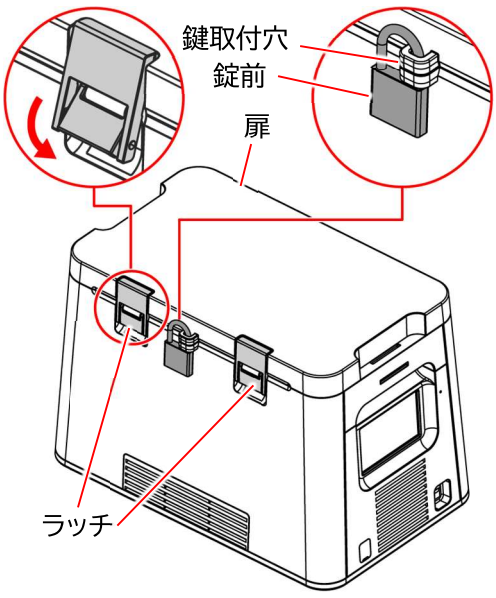
1) メイン画面の「状態」が「運転中」になっていることを確認します。
2) メイン画面の庫内温度が、設定温度になっていることを確認します。



3) ラッチのロックを解除し、扉を開きます。
扉を開いている間は、アラームが鳴ります。
※ 庫内温度が変化しないよう、扉はなるべく早く閉めてください。
※ 扉を開閉する時は乱暴に取り扱わないでください。慎重に開け閉めしてください。
4) 保管物を庫内に収納します。
- 最大容量：8.0L、5kg以下※
  ※ ただし、扉が閉まること
  ※ 庫内の上端から保管物がはみ出ないこと



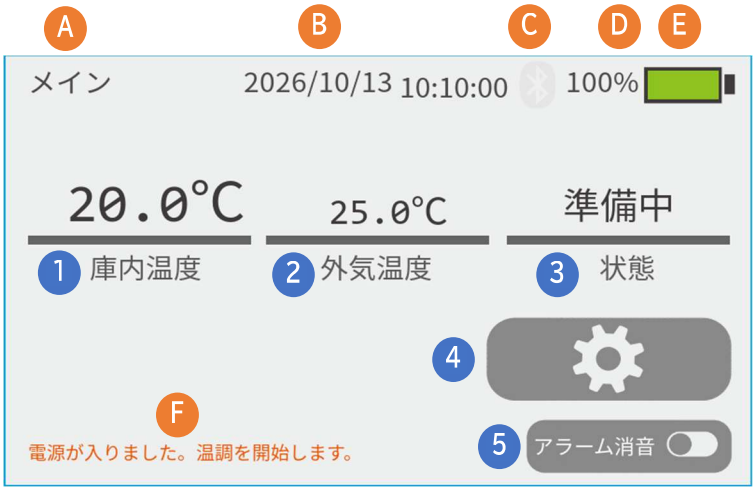
5) 扉を閉じ、ラッチをロックします。
必要な場合は、鍵取付穴に錠前※を取り付けて施錠してください。
※ 錠前は付属していません。



6 操作パネルの操作

6.1 画面表示

メイン画面では装置の状態が確認できます。
共通表示はすべての画面に表示されます。



共通表示

No.	項目	内容	参照
A	画面名	現在表示中の画面名を表示します。	–
B	日時時刻表示	日付と時刻を表示します。	6.4
C	Bluetooth 表示	Bluetooth が ON のときアイコンを表示します。	–
D	電池残量表示	電池パックの残量を%で表示します。	5.1
E	電池状態表示	電池パックの残量をアイコンで表示します。 電池パック充電時は「ϟ」を表示します。	5.1
F	メッセージ表示	現在の動作、エラーメッセージを表示します。	9.1

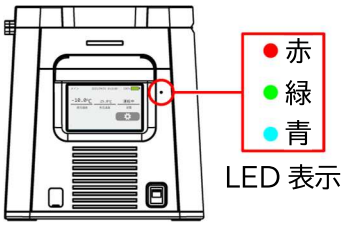
※ 電池残量0%で停止した後にAC電源を接続すると、最大5分程度、電池残量表示が実際と異なることがあります（その後は正常な表示に戻ります）。運転には影響ありません。

画面内容

No.	項目	内容	参照
1	庫内温度表示	現在の庫内温度を表示します。	6.2
2	外気温度表示	装置周囲の温度を表示します。	–
3	状態表示	装置の状態を表示します。 • 庫内が設定温度※に到達：　運転中 • 庫内の温度を調整中：　準備中 **※ 上限･下限設定温度以内**	–
4	設定ボタン	各種設定および表示画面のメニュー画面を表示します。	6.3 ～ 6.6
5	アラーム消音ボタン	アラームの鳴音を消音／消音解除します。	6.2

6.2 LED 表示とアラームの状態

LED 表示状態



表示	点灯	点滅
赤	AC 接続	バッテリー残量 20%未満 アラーム発生中(消音中を含む) ※「パスワードが異なります。」を除く
緑	バッテリー稼働	Bluetooth 接続中
青	バッテリー充電完了	-

アラーム音の状態

アラーム音が鳴動する場合は、以下のいずれかの状態になっています。
原因を確認し、適切に対処してください。

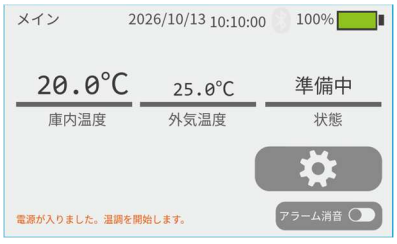
No.	原因	対処	参照
1	扉が開いています。	扉を閉じてください。	–
2	バッテリー残量が 20%未満になりました。	電池パックを充電してください。	5.1
3	パスワードが異なります。	正しいパスワードを入力してください。	–
4	庫内温度が設定温度の上限/下限を超えてから 3 分以上経過しました。	「エラーリスト」の No.6を参照してください。	9.1
5	使用環境温度より高い気温の場所で使用しています。	使用環境温度の範囲内で使用してください。	3.1
6	使用環境温度より低い気温の場所で使用しています。	使用環境温度の範囲内で使用してください。	3.1
7	フィルターが埃で目詰まりしています。	「エラーリスト」の No.8、No.9、No.10 を参照してください。	9.1
8	ファンが動作していません。	「エラーリスト」の No.10 を参照してください。	9.1
9	温度センサー異常と表示されました。	「エラーリスト」の No.7、No.11 を参照してください。	9.1

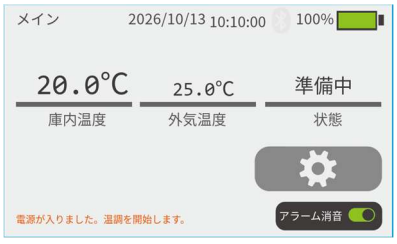
アラームの消音

メイン画面右下の[アラーム消音]ボタンで、アラームの鳴音を止める（消音する）ことができます。ボタンは常に表示されており、いつでも切り替えられます。

1) メイン画面の[アラーム消音]をタッチし、ONにします。
鳴音が止まります。

2) 消音を解除する場合は、[アラーム消音]を再度タッチし、OFFにします。
異常状態が続いている場合は、鳴音が再開します。





左：消音OFF（鳴音あり）　　右：消音ON（消音中）

※ 消音中も、画面のメッセージ表示とLEDの点滅は継続します。

※ 消音中は、すべてのアラームが鳴音しません（消音中に別の異常が発生した場合も同様です）。

※ 消音中かどうかは、[アラーム消音]ボタンの表示で確認できます。

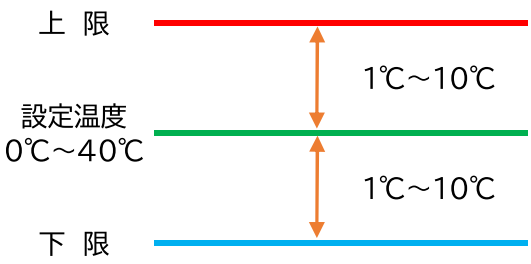
※ 電源をOFFにすると、消音は解除されます。

※ アラームを消音しても、異常状態は解消されていません。必ず原因を確認し、対処してください。

6.3 温度の設定

温度設定画面では、庫内の温度の設定と管理範囲（上限、下限）の設定操作ができます。

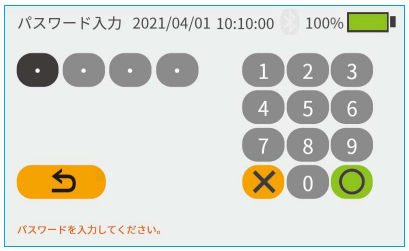
※ 上限/下限は庫内温度を保証するものではありません。



1) メイン画面の[設定ボタン]をタッチします。
2) 設定画面の[温度設定]を選択し、[OK]をタッチします。



3) 4桁のパスワードを入入し、[○]をタッチします。
パスワードの設定については「**6.5.3 パスワードの変更**」（**P21**）を参照してください。
- **初期パスワード: 1234**



4) 庫内温度を以下の手順で設定します。
   a) [設定]をタッチし、[＜/＜]で庫内温度を設定します。
      - 入力範囲： 0～40℃
   b) [上限]/[下限]をタッチし、[＜/＜]で「運転」状態とする温度の上限/下限を設定します。
      - 上/下限入力範囲： 1～10℃
   c) [OK]をタッチし、設定を確定します。
5) [⮌]をタッチし、設定画面に戻ります。



6.4 日付の設定

日付設定画面では、日付と時刻の設定ができます。

1) メイン画面の[設定ボタン]をタッチします。
2) 設定画面の[日付設定]を選択し、[OK]をタッチします。



3) 日付と時刻を以下の手順で設定します。
   a) 変更する項目をタッチし、[＜/＜]で設定します。
   b) [OK]をタッチし、設定を確定します。
4) [⮌]をタッチし、設定画面に戻ります。



6.5 装置情報の確認と変更

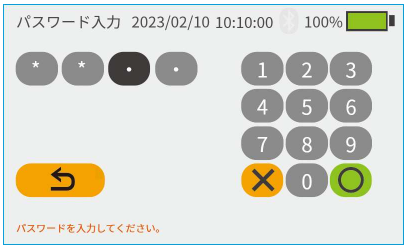
6.5.1 装置情報の確認

BOX情報画面では、装置情報の確認および温度ログ間隔とパスワードの設定ができます。

1) メイン画面の[設定ボタン]をタッチします。
2) 設定画面の[BOX情報]を選択し、[OK]をタッチします。



3) 4桁のパスワードを入入力し、[O]をタッチします。
パスワードの設定については「**6.5.3 パスワードの変更**」（**P21**）を参照してください。
- **初期パスワード：1234**



4) 装置情報が確認できます。



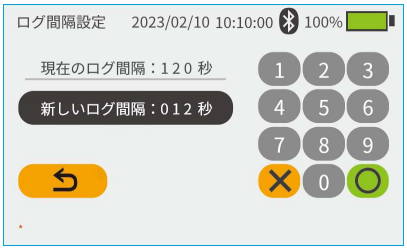
No.	項目	内容	参照
1	BOX No.	製造番号を表示します。	–
2	Main ver.	システムのバージョンを表示します。	–
3	Screen ver.	操作パネルのバージョンを表示します。	–
4	Bluetooth ver.	Bluetooth のバージョンを表示します。	–
5	戻るボタン	メイン画面に戻ります。	
6	ログ間隔設定ボタン	装置使用時の庫内温度と温度設定を記録する間隔(秒)を設定します。	6.5.2
7	パスワード設定ボタン	パスワードを変更します。 •初期パスワード：1234	6.5.3

6.5.2 温度ログ間隔の変更

1) BOX情報画面の[ログ間隔設定]をタッチします。



2) [新しいログ間隔]をタッチします。
3) 温度ログ間隔を入力し、[O]をタッチします。
「現在のログ間隔」が新しい入力値に変更されます。
   - 入力範囲： 10～999秒
4) [⮌]をタッチし、BOX情報画面に戻ります。



6.5.3 パスワードの変更

1) BOX情報画面の[パスワード設定]をタッチします。



2) [現在のパスワード]をタッチし、現在のパスワードを入力します。
3) [新しいパスワード]をタッチし、新しいパスワードを入力します。
4) [もう一度入力]をタッチし、再度新しいパスワードを入力します。
5) [O]をタッチします。
パスワードが変更されます。
6) [⮌]をタッチし、設定画面に戻ります。



※ [表示]をタッチするとパスワードが表示されます。

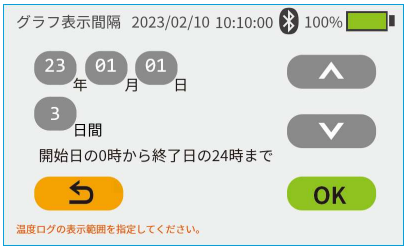
6.6 グラフ表示

グラフ表示画面では、指定した期間※の庫内温度と温度設定の温度ログをグラフで表示します。
※ 開始日から7日間の設定が可能です。
また、扉の開閉と電源の切り替えは、グラフのX軸上にマーカー（O、X）で表示されます。

1) メイン画面の[設定ボタン]をタッチします。
2) 設定画面の[グラフ表示]を選択し、[OK]をタッチします。



3) グラフを表示する期間を以下の手順で設定します。
   a) 設定する項目をタッチし、[＜/＜]で日付を設定します。
      • 入力範囲： 記録されている温度ログの期間
   b) [OK]をタッチし、期間を確定します。



4) グラフ表示画面が表示されます。
5) [⮌]をタッチし、設定画面に戻ります。



マーカーの見かた

扉開閉（赤）：O＝扉が閉じた（開→閉）　X＝扉が開いた（閉→開）
電源切替（緑）：O＝ACアダプターが接続された（電池パックの有無は問わない）　X＝電池パックのみの動作に切り替わった
※ グラフ画面の下部に、凡例「電源切替 OX」「扉開閉 OX」が表示されます。
※ 扉開閉と電源切替が近い時刻に発生した場合は、マーカーが上下にずれて表示されます。

7 データの出力

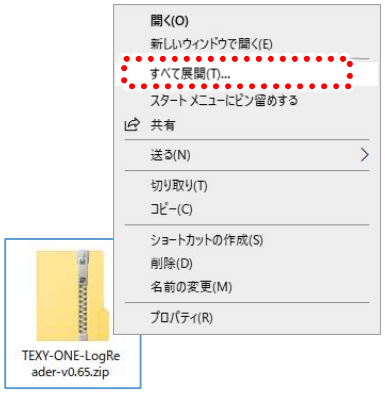
温度ログデータは、専用ソフトウェア「TEXY-ONE-LogReader」（以下「LogReader」）よりパソコンに出力できます。

7.1 ソフトウェアの準備

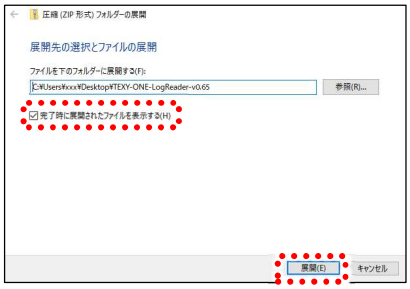
ソフトウェアのダウンロード

1） 以下のアドレスよりLogReaderの最新バージョンをダウンロードします。
   - アドレス： https://texy-one.texeg.co.jp

2） ダウンロードしたZIPファイルを右クリックし、「すべて展開」を選択します。



3） ソフトウェアの保存先を指定します。
4） 「完了時に展開されたファイルを表示する」にチェックを入れます。
5） [展開]をクリックします。



6） ZIPファイルが指定のフォルダに解凍されます。



Runtime のインストール

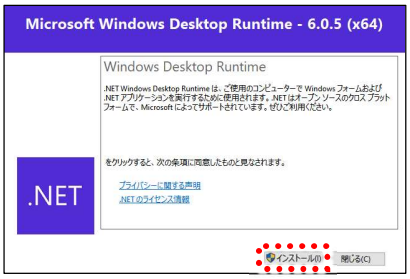
LogReaderの使用には、「Microsoft .NET Desktop Runtime」※が必要になります。
LogReaderを起動する前に、必ずインストールしてください。

※ Microsoft .NET Desktop Runtimeは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

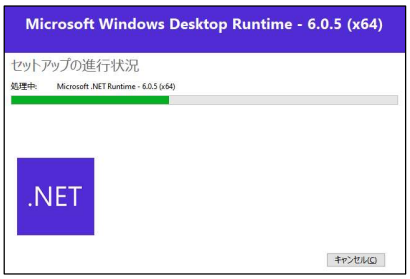
1) LogReaderのフォルダを開きます。
2) 「windowsdesktop-runtime-6.0.5-win-x64.exe」をダブルクリックし、インストーラーを起動します。



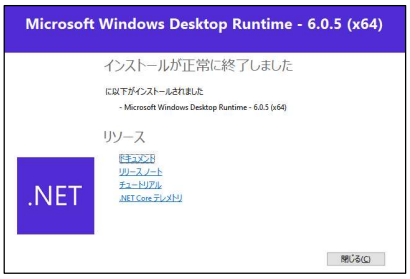
3) インストーラー画面の[インストール]をクリックします。
確認画面「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。



4) インストールが開始します。
完了するまで待機してください。



5) 終了画面が表示されたら[閉じる]をクリックします。
以上でインストールは完了です。



7.2 ソフトウェアの起動

1） LogReaderのフォルダを開きます。
2） 「TEXY-ONE-LogReader.exe」をダブルクリックします。

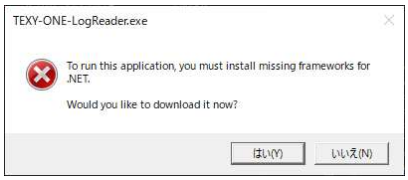


3） LogReaderが起動します。



Runtime がインストールされていない場合

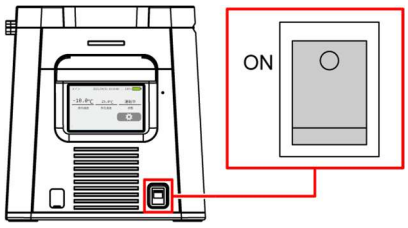
Runtime がインストールされていない場合、「LogReader」起動時にエラーメッセージが表示されます。
[いいえ]をクリックしてエラー画面を閉じ、「Microsoft Windows Desktop Runtime」をインストールしてください。（**7.1**）



7.3 データ取込準備

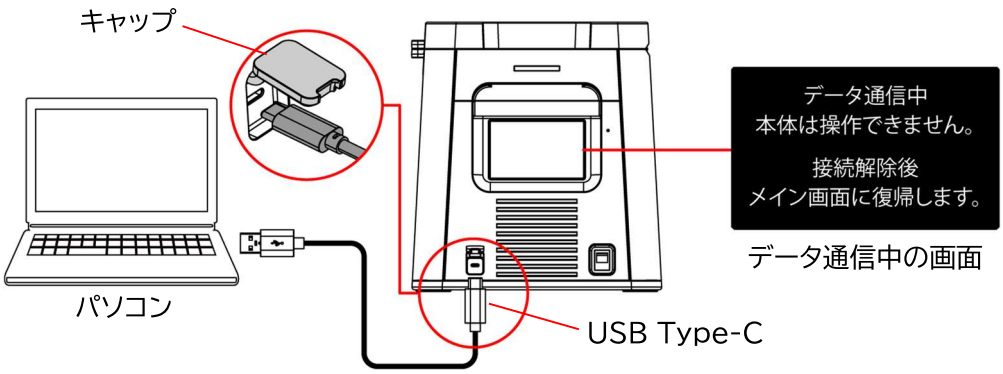
7.3.1 PC 使用時の取込準備

1） 装置の電源をONにします。



2） USBポートのキャップを開き、付属のUSB Type-Cケーブルでパソコンと装置を接続します。

3） タッチパネルにデータ通信中の画面が表示されていることを確認します。
表示されていない場合はケーブルを抜き差しし、接続しなおしてください。



7.3.2 Bluetooth 使用時の取込準備

1） メイン画面の「設定ボタン」をタッチします。

2） 設定画面の「Bluetooth OFF」をタッチし、「Bluetooth ON」に切り替えます。

3） パソコンの設定画面を開きます。
〝Bluetoothとデバイス〟画面に遷移します。
BluetoothをONにします。

※ パソコンのBluetoothをONにしないと、Bluetooth接続による通信機能は使用することができません。

※ Bluetooth機能を搭載していないパソコンでは、Bluetooth接続による通信機能は対応しておりません。

4） LogReaderで通信機能が使用可能になります。



Bluetooth 通信は、周辺の機器や電波環境の影響により、データ転送に時間がかかる場合があります。また、出力されたデータに問題が起きる可能性があります。

7.4 データ取り込み

1） LogReaderを起動します。（**7.2**）



2） 温度ログを取得する装置を接続します。

a） メイン画面の[リンクモード]をクリックします。

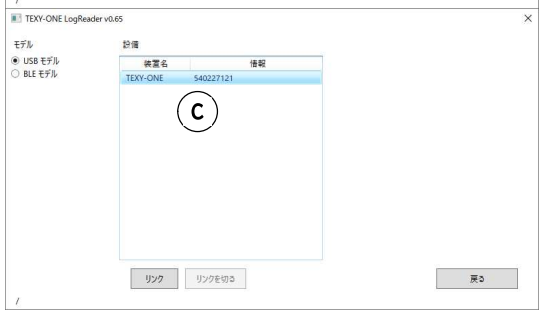


b） デバイス選択画面から、温度ログの取得方法をクリックし、選択します。

- USBモデル：USBケーブルで接続
- BLEモデル：Bluetoothで接続



c） デバイス選択画面の設備一覧から、温度ログを取得する装置をクリックし、選択します。
選択した装置は青く表示されます。



d） [リンク]をクリックします。
接続が成功すると、以下のように表示します。

- USBモデル：
  メッセージ「Connected USB Device Completed」を表示。
- BLEモデル：
  装置のLEDが緑色で点滅。



e） [戻る]をクリックします。

f） メイン画面の装置名称に接続した装置名が表示されます。



3) LogReaderの「時刻設定」で温度ログを取得する期間を設定します。

a) メイン画面の[時刻設定]をクリックします。



b) 時刻設定画面で温度ログを取得する開始日時と終了日時を入力します。

c) [時刻設定]をクリックします。

d) メッセージウインドウの[OK]をクリックします。

e) 時刻設定画面の[OK]をクリックします。





[ⓒ時刻設定]をクリックする前に[ⓔOK]をクリックすると、変更した時刻を反映せずにメイン画面に戻りますので注意してください。

4) 温度ログファイル（.csv）を出力します。

a) 温度ログの取得期間を確認します。

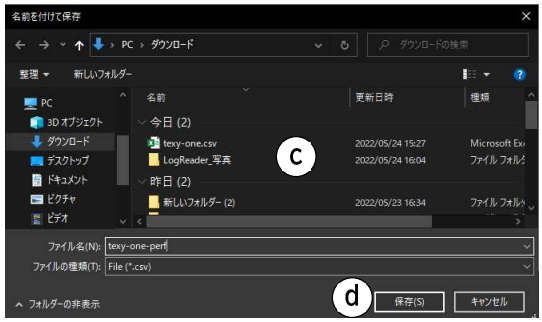
b) メイン画面の[取得開始]をクリックします。



c) 保存先のフォルダを指定します。

d) ファイル名を入力し、[保存]をクリックします。

※ データの抜け漏れを防ぐため、ダウンロードは2回行われます。完了のメッセージが表示されるまでお待ちください。



e) メッセージウインドウの[OK]をクリックします。



f) 指定したフォルダにファイルが出力されていることを確認します。

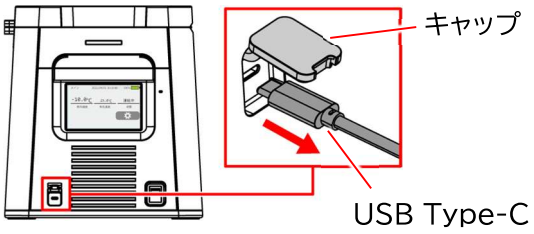


5) 出力作業を完了します。

- PC側：
  [×]をクリックし、LogReaderを終了します。



- 装置側（USB）：
  ケーブルを取外し、USBポートのキャップを閉じます。



- 装置側（BLE）：
  設定画面の[Bluetooth ON]をタッチし、[Bluetooth OFF]に切り替えます。
  LEDが消灯します。



CSV ファイルの内容

保存したCSVファイルは、お客様にて自由に編集できます。

Device Na	TEXY-ONE								
Serial No.	1676-BEH0100011								
Main Vers	1.1.27(2023/11/09)								
TFT Versi	1.2.6(2026/11/03)								
LogReade	0.93.1(2026/10/13)								
Connectio	USB								
Export Sta	2026/10/12 0:00								
Export En	2026/11/6 10:38								
		❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼	❽
No.	Time	Inside Te	Ambient '	Setting Te	Upper Lir	Lower Lim	Error Cod	RealTime	Battery
	2026/10/12 0:00								Battery
0	2026/10/12 0:00	25.4	25.1	25	30	20			
1	2026/10/12 0:00	25.4	25.2	25	30	20			
2	2026/10/12 0:00	25.4	25.2	25	30	20			
3	2026/10/12 0:01	25.4	25.1	25	30	20			
4	2026/10/12 0:01	25.4	25.1	25	30	20			
5	2026/10/12 0:01	25.4	25.2	25	30	20			
6	2026/10/12 0:02	25.4	25.1	25	30	20			
7	2026/10/12 0:02	25.4	25.2	25	30	20			
8	2026/10/12 0:02	25.4	25.3	25	30	20			
9	2026/10/12 0:03	25.4	25.5	25	30	20			
10	2026/10/12 0:03	25.4	25.5	25	30	20			

CSVファイルは、「全体ログ」「温度ログ」「扉開閉ログ」「電源状態ログ」の4つで構成されています。

■ 全体ログ（上図）

①庫内温度（Inside Temp）
②周囲温度（Ambient Temp）
③設定温度（Setting Temp）
④上限温度（Upper Limit）
⑤下限温度（Lower Limit）
⑥エラーコード（Error Code）
⑦扉開閉（RealTime Lid）：1＝開、0＝閉
⑧電源状態（Battery）：AC＝ACアダプターで動作、Battery＝電池パックのみで動作

※ ⑦⑧は、扉の開閉や電源の切り替えが発生した時刻の行に記録されます。

■ 温度ログ

温度ログ間隔ごとの①～⑥の記録です。

No.	Time	Inside Te	Ambient '	Setting Te	Upper Lir	Lower Lim	Error Cod
0	2026/10/12 0:00	25.4	25.1	25	30	20	
1	2026/10/12 0:00	25.4	25.2	25	30	20	
2	2026/10/12 0:00	25.4	25.2	25	30	20	
3	2026/10/12 0:01	25.4	25.1	25	30	20	
4	2026/10/12 0:01	25.4	25.1	25	30	20	
5	2026/10/12 0:01	25.4	25.2	25	30	20	
6	2026/10/12 0:02	25.4	25.1	25	30	20	
7	2026/10/12 0:02	25.4	25.2	25	30	20	
8	2026/10/12 0:02	25.4	25.3	25	30	20	
9	2026/10/12 0:03	25.4	25.5	25	30	20	
10	2026/10/12 0:03	25.4	25.5	25	30	20	
11	2026/10/12 0:03	25.4	25.3	25	30	20	
12	2026/10/12 0:04	25.4	25.2	25	30	20	

■ 扉開閉ログ

扉を開閉した時刻の記録です（RealTime Lid：1＝開、0＝閉）。

No.	Time	RealTime
0	2026/10/12 7:12	1
1	2026/10/12 9:12	0
2	2026/10/12 13:11	1
3	2026/10/12 13:15	0

■ 電源状態ログ

電源ON時の状態と、電源が切り替わった時刻の記録です（Battery State：AC＝ACアダプターで動作、Battery＝電池パックのみで動作）。

No.	Time	Battery State
0	2026/10/12 0:00	Battery
1	2026/10/12 6:25	AC
2	2026/10/12 19:46	Battery
3	2026/10/12 22:41	AC
4	2026/11/6 10:37	Battery

※ 電源の状態は、ACアダプターと電池パックが切り替わったときのみ記録されます。

7.5 TEXY-ONE-LogReader のエラーリスト

Error No.	内容	概要
E1	外気温度エラー	装置底面で測定している外気温度※が 0℃以下、または 35℃以上のとき、エラーを出力します。 **※ 外気温度が-20℃を下回る、または 60℃を上回る場合は「E6」のエラーを出力します。**
E2	FIN オーバーヒート	ペルチェの放熱フィンの温度※が 55℃以上になったとき、エラーを出力します。 **※ 放熱フィンの温度が-20℃を下回る、または 60℃を上回る場合は「E5」のエラーを出力します。**
E3	庫内温度　異常	庫内温度※が-10℃以下、または 50℃以上のとき、エラーを出力します。 **※ 庫内温度が-20℃を下回る、または 60℃を上回る場合は「E7」のエラーを出力します。**
E4	NTC1 検出温度 （断線、短絡など）	ペルチェ部分の温度が-20℃を下回る、または 60℃を上回るとき、エラーを出力します。
E5	NTC2 検出温度 （断線、短絡など）	ペルチェの放熱フィンの温度が-20℃を下回る、または 60℃を上回るとき、エラーを出力します。
E6	NTC3 検出温度 （断線、短絡など）	装置底面で測定している外気温度が-20℃を下回る、または 60℃を上回るとき、エラーを出力します。
E7	NTC4 検出温度 （断線、短絡など）	庫内温度が-20℃を下回る、または 60℃を上回るとき、エラーを出力します。
E8	庫内温度 設定範囲逸脱	庫内温度が設定温度付近に到達して「運転中」になってから、温度設定変更以外の理由で以下の状態となったとき、エラーを出力します。 ① 庫内温度が「設定温度＋下限」を下回ってから 3 分経過 例：　設定温度＝5℃、下限＝-5℃の場合、0℃以下の状態が 3 分以上継続する ② 庫内温度が「設定温度＋上限」を上回ってから 3 分経過 例：　設定温度＝5℃、上限＝5℃の場合、10℃以上の状態が 3 分以上継続する

7.6 温度ログデータの削除

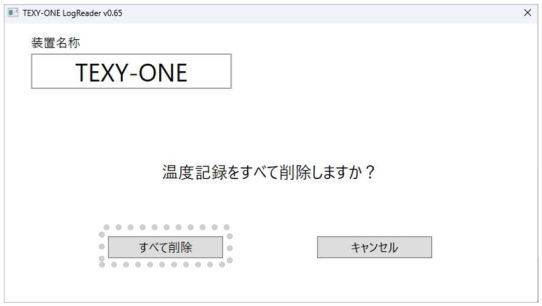
装置に保存されている温度ログデータを削除する場合は、以下の操作を行います。

1） パソコンと装置を付属のUSB Type-Cケーブルで接続します。
接続方法は**「7.4 データ取り込み」**を参照してください。
※ Bluetooth接続では実行できません

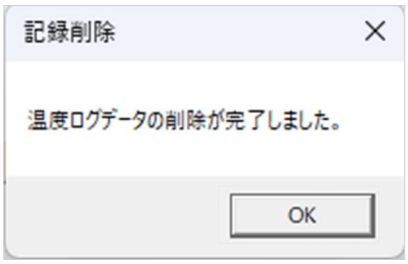
2） メイン画面の[記録削除]をクリックします。



3） [すべて削除]をクリックします。



4） メッセージウインドウの[OK]をクリックします。



8 メンテナンス

8.1 装置の清掃

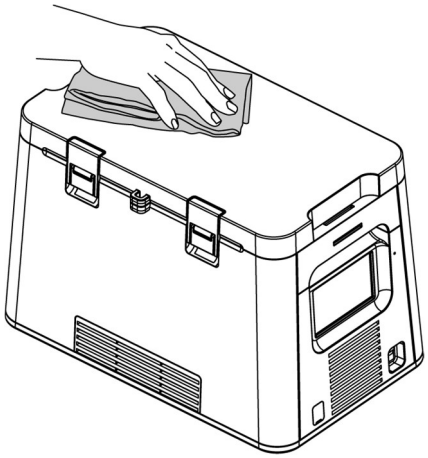
警告

装置に直接水をかけないでください。
漏電、感電の恐れがあります。

注意

メンテナンスを行う場合は装置の電源を OFF にしてください。

外装、及び庫内に結露水などの水分があった場合、
拭き取ってください。
装置を清掃する場合は、柔らかい乾いた布で汚れを
拭き取ります。
汚れが取れないときは、水を含ませ固く絞った布で
拭き取ってください。



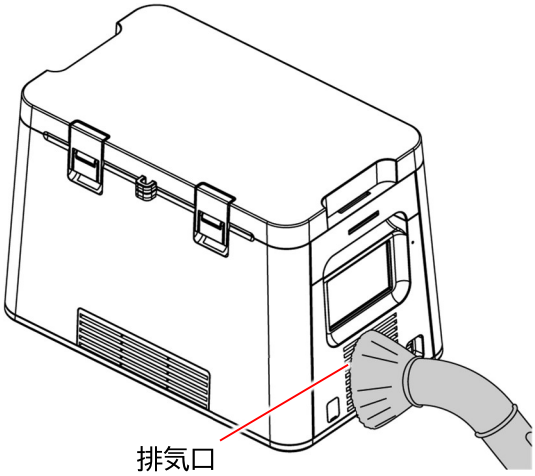
8.2 吸気口、排気口の清掃

注意

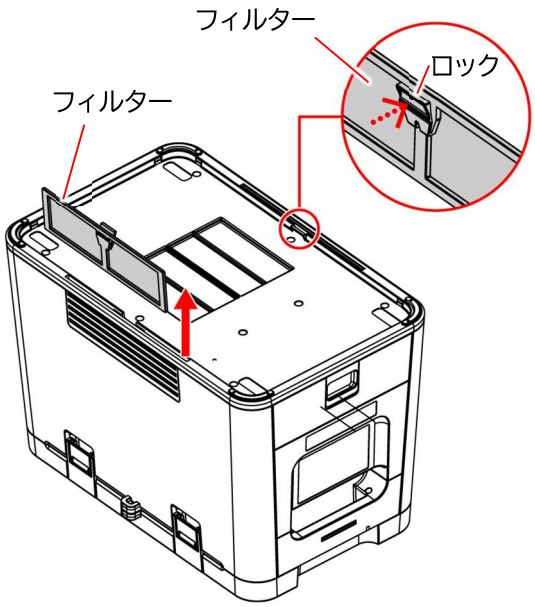
メンテナンスを行う場合は装置の電源を OFF にしてください。

吸気口、排気口のフィルターは、2週間に1回を目安に清掃してください。
汚れがひどい場合は、清掃の間隔を縮めてください。

1） 排気口のフィルターについた埃を掃除機で
取り除きます。



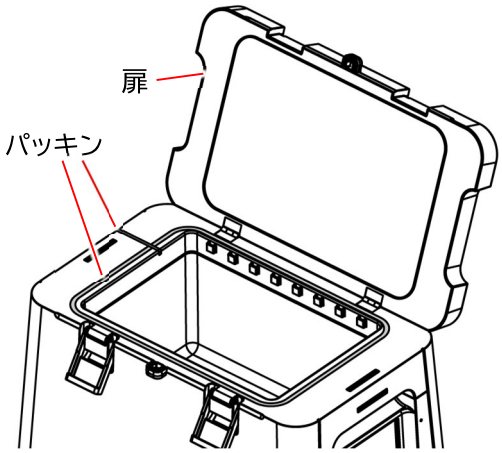
2) 装置をひっくり返し、底面を上にします。
3) 吸気口のフィルター（2箇所）のロックを軽く押しながら、フィルターを取り外します。
4) 吸気口のフィルターについた埃を掃除機で取り除きます。
5) 吸気口のフィルターを取り付けます。
6) 装置をひっくり返し、元の位置に戻します。



8.3 パッキンの点検交換

使用前に必ず、扉のパッキンが破損していないか確認してください。
交換部品については、販売代理店までご連絡ください。

1) 扉のラッチを解除し、扉を開きます。
2) パッキンが破損していないか確認します。
破損している場合は交換してください。



8.4 各種初期化

8.4.1 装置の初期化

装置の初期化はLogReaderから行います。

初期化される項目

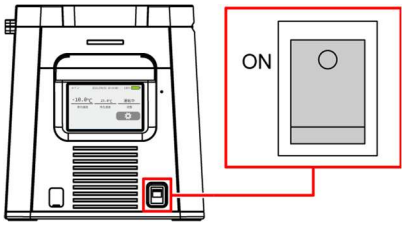
No.	項目	工場出荷時の状態	参照
1	日付設定	2026/01/01 00:00:00	6.4
2	パスワード	1234	6.5.3
3	温度設定	設定:5℃ 上限:設定+5℃ 下限:設定-5℃	6.3
4	温度ログデータ	装置に記録された温度ログデータはすべて消去されます。	6.6
5	温度ログ間隔設定	10 秒	6.5.2

初期化方法

初期化を行うと温度ログデータも消去されます。
必要な場合は事前に出力してください。

1) 装置の電源をONにします。

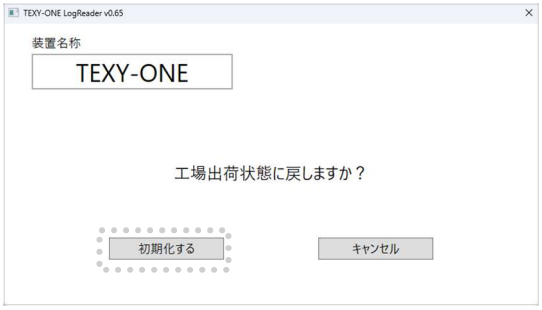
2) パソコンと装置を付属のUSB Type-Cケーブルで接続します。
接続方法は**「7.4 データ取り込み」**を参照してください。
※ Bluetooth接続では実行できません



3) メイン画面の[設定初期化]をクリックします。



4) [初期化する]をクリックします。



5) メッセージウインドウの[OK]をクリックします。



8.4.2 パスワードの初期化

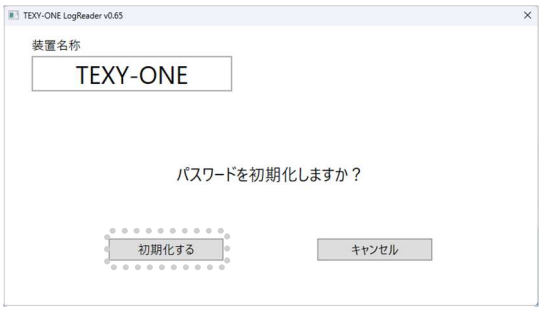
装置のパスワードを初期化する場合は、以下の操作を行います。
初期化後のパスワードは「1234」になります。

1） パソコンと装置を付属のUSB Type-Cケーブルで接続します。
接続方法は**「7.4 データ取り込み」**を参照してください。
※ Bluetooth接続では実行できません

2） メイン画面の[パスワード初期化]をクリックします。



3） [初期化する]をクリックします。



4） メッセージウインドウの[OK]をクリックします。



9 トラブルシューティング

9.1 エラーリスト

No.	エラーメッセージ	原因	対処
1	外気温が高くなっています。	外気温が 35℃を上回っている。	以下の環境下で使用してください。(3.1) ・外気温 5℃以上～35℃以下 (AC 給電モード) ・外気温 0℃以上～35℃以下 (電池パックモード)
2	外気温が低くなっています。	外気温が 0℃を下回っている。	以下の環境下で使用してください。(3.1) ・外気温 5℃以上～35℃以下 (AC 給電モード) ・外気温 0℃以上～35℃以下 (電池パックモード)
3	扉が開いています。	扉が開いたままになっている。	扉を閉めてください。
4	表示できる温度ログデータがありません。	温度ログデータが蓄積されていない。	温度ログ間隔を確認してください。 温度ログデータが蓄積されるまで待機してください。
5	パスワードが違います。	異なるパスワードを入力した。	正しいパスワードを再入力してください。
6	庫内温度が設定範囲から逸脱しています。	a. 設定温度が異なるものを大量に収納した。 b. 扉を開いた状態で長時間作業した。 c. パッキンの劣化。	a. 扉を閉めて、しばらく様子を見てください。 b. 扉を閉めて、しばらく様子を見てください。 c. パッキンを交換してください。 パッキン購入に関しては販売代理店までご連絡ください。
7	温度センサー異常です。 安全のため停止します。	温度センサーに異常が発生した。	直ちに装置から保管物を移動し、販売代理店までご連絡ください。
8	放熱不良です。	フィルターが埃で目詰まりしている。	吸気口と排気口を清掃してください。(8.2)
9	放熱異常です。 安全のために停止します。	フィルターが埃で目詰まりしている。	吸気口と排気口を清掃してください。(8.2) 再起動後、再びメッセージが表示された場合は、メッセージ内容を販売代理店までご連絡ください。
10	庫内温度が異常です。 点検してください。	•フィルターが埃で目詰まりしている。 •ファンが動作していない。	吸気口と排気口を清掃してください。(8.2) 再起動後、再びメッセージが表示された場合は、メッセージ内容を販売代理店までご連絡ください。
11	温度センサー異常で停止中です。 メンテナンスしてください。	自己診断機能で温度センサー異常を確認したため運転を停止した。	メッセージ内容を販売代理店までご連絡ください。

9.2 故障かな?

9.2.1 電源が ON にならない

No.	原因	対処	参照
1	電池パックが充電されていない	• 電池パックを充電してください。 • AC 給電モードで使用してください。	5.1 5
2	電池パックが設置されていない	電池パックを電池トレーに設置してください。	5
3	電源コードが接続されていない	電源コードを接続してください。	5
4	電源コードが断線している	電源コードを交換してください。 交換品については、販売代理店までご連絡ください。	–
5	電池パックが寿命になった	電池パックを交換してください。 交換品については、販売代理店までご連絡ください。	–
6	上記以外	装置が故障している恐れがあります。 販売代理店までご連絡ください。	–

9.2.2 庫内が設定温度にならない

No.	原因	対処	参照
1	設定温度を間違えている	設定温度を確認し、異なる場合は設定しなおしてください。	
2	扉が開いている	扉を閉じ、ラッチで確実にロックします。	
3	排気口、吸気口がふさがっている	装置の周囲は 10cm 以上のスペースを確保してください。	4.1
4	フィルターが埃で目詰まりしている	吸気口と排気口を清掃してください。	8.2
5	使用環境温度が設置条件の範囲を超えている	装置を使用環境温度 0～35℃(AC 給電モードは 5～35℃)の場所に移動してください。	4.1
6	パッキンが破損している	パッキンを交換してください。 パッキン購入に関しては販売代理店までご連絡ください。	8.3
7	上記以外	装置が故障している恐れがあります。 販売代理店までご連絡ください。	–

9.2.3 アラームが止まらない

No.	原因	対処	参照
1	扉が開いている	扉を閉じ、ラッチで確実にロックします。	
2	エラーが発生している	操作パネルに表示されているコメントを確認してください。	9.1
3	原因に対処している間、鳴音を止めたい	メイン画面の[アラーム消音]をタッチすると、鳴音のみ止めることができます。消音中も異常は続いているため、原因に対処してください。	6.2
4	上記以外	装置が故障している恐れがあります。 販売代理店までご連絡ください。	–

9.2.4 温度ログデータが出力できない

No.	原因	対処	参照
1	USB ケーブルを接続していない	USB ケーブルを接続してください。	**7.3.1**
2	Bluetooth が接続していない	Bluetooth を接続してください。	**7.3.2**
3	充電専用の USB ケーブルを使用している	付属の USB Type-C ケーブル、またはデータ転送用の USB Type-C ケーブルを使用してください。	**7.3.1**
4	ケーブルに不具合がある	ケーブルを交換してください。 ケーブル購入に関しては販売代理店までご連絡ください。	–
5	付属ソフトを使用していない	付属ソフトを使用してください。	–
6	扉開閉・電源切替のイベントログが出力されない	LogReader 0.93.1 以降を使用してください。	7.1
7	上記以外	装置が故障している恐れがあります。 販売代理店までご連絡ください。	–

9.2.5 アラームが鳴らない

No.	原因	対処	参照
1	アラームが消音中になっている	メイン画面の[アラーム消音]をタッチし、消音を解除してください。	**6.2**
2	上記以外	装置が故障している恐れがあります。 販売代理店までご連絡ください。	–

TEXY-ONE+取扱説明書

第 1 版: 2024. 02. 07
第 2 版: 2024. 04. 17
第 3 版: 2024. 12. 04
第 4 版: 2026. 05. 15
第 5 版: 2026. 11. 12

発行元： 株式会社テックスイージー

© 2026 TEXeg CO., LTD （許可なしに転載複製を禁ずる。）